

都市再生整備計画 事後評価シート
阿見東部地区

平成30年3月

茨城県阿見町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	茨城県	市町村名	阿見町	地区名	阿見東部地区			面積	477ha
交付期間	平成25年度～平成29年度	事後評価実施時期	平成29年度	交付対象事業費	806.5百万円	国費率	0.4		

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名						
	基幹事業		道路事業・公園事業・生活基盤整備施設事業						
	提案事業		地域創造支援事業・事業活用調査						
			事業名			削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	
	当初計画から削除した事業		基幹事業		道路事業(歩行者専用道路整備)		歩行者専用道路整備については阿見吉原土地区画整理事業区域内での事業となるため事業を削除		影響なし
			提案事業		事業活用調査(地域づくり調査検討業務)		事業内容の変更に伴い削除		影響なし
新たに追加した事業		基幹事業		—					
		提案事業		—					
交付期間の変更		当初	—	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			—		
		変更	—						

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	まちづくりに対する満足度	%	57.4	H24	79.4	H29	●	55.6	×	あり	整備により快適で安心して暮らせる住環境が整いつつあり満足度の向上を目指したが、3つの街区公園がH29年度中の完成を目指し、1つはH30年度の完成予定と大半が整備中であり、まちづくりの満足度に反映されなかった。	H35年5月頃 (第7次総合計画策定に伴う町民意向調査実施時期)
										なし		
指標2	建築件数	件	16	H24	60	H29	●	86	○	あり	あみプレミアム・アウトレットや幹線道路沿道への便利施設、一般企業、物流センター等の誘致が実現するなど地区全体のまちづくりが進み建築件数が増加した。	H30年10月頃
										なし		

3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1	町並みや景観に関する満足度	%	55.2	H24	/	/	/	61.6	/	あり	「景観形成道路の景観形成ガイドライン」を活用した竜ヶ崎阿見線バイパスの一体的な沿道景観形成や環境と地形を活かした近隣公園、街区公園の整備により町並みや景観に関する満足度が向上した。	H35年5月頃 (第7次総合計画策定に伴う町民意向調査実施時期)
										なし		

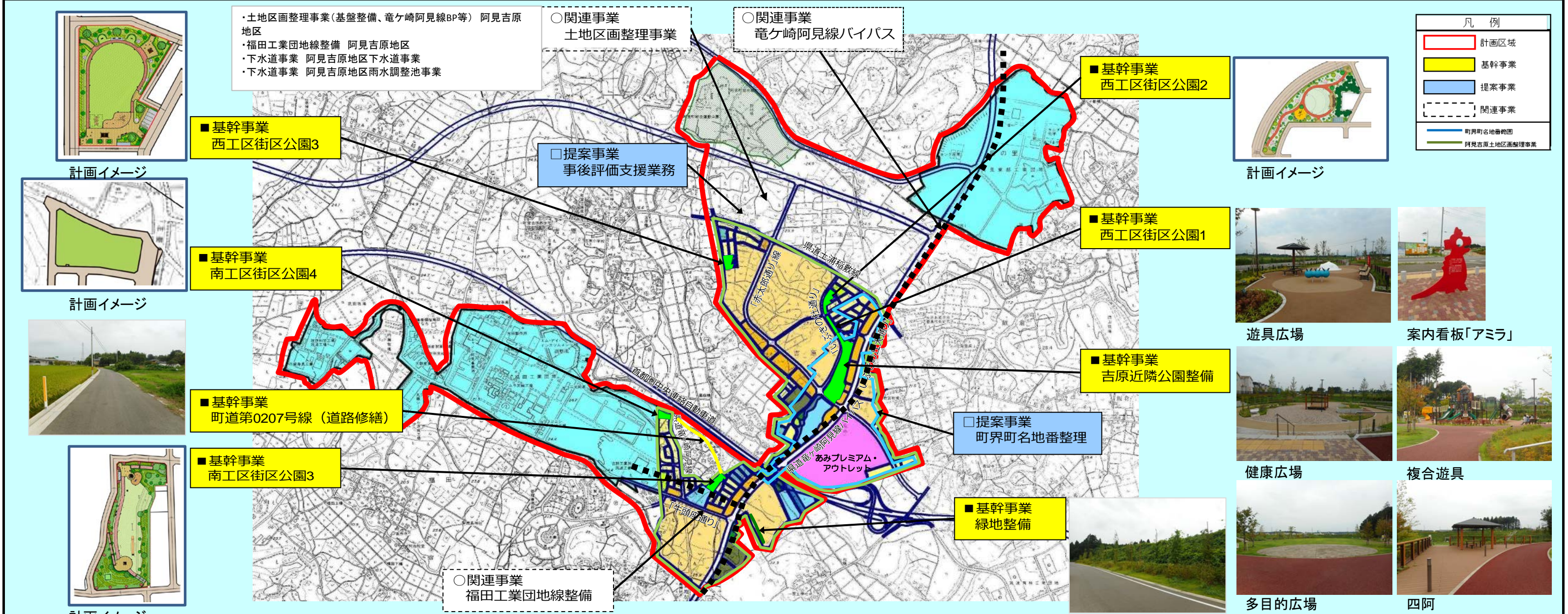
4)定性的な効果発現状況

5)実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等
モニタリング	事業の進捗及び効果を確認するため、中間評価(モニタリング)	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	—	
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●		
住民参加プロセス	いぶきの丘阿見東まちづくり推進協議会公園部会において整備内容及び使いやすく町民に親しまれる公園づくりについてワークショップ形式の部会を開催	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	今後も他の街区公園も含め公園利用者である住民や里親制度への参加者の意見を聞きながら、利用促進を図っていく。	
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●		
持続的なまちづくり体制の構築	いぶきの丘阿見東まちづくり推進協議会を設置し、住民代表委員による継続的なまちづくりについて交付金事業の整備内容の説明・意見交換などを行う	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	阿見吉原地区土地区画整理事業が完了する平成31年度まで継続して実施。	
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●		

様式2-2 地区の概要

阿見東部地区(茨城県阿見町) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
	商業・産業・居住空間等の融合による良質で豊かなまちづくり ・優れた景観と高い機能性を有する良好な住環境を形成し、魅力ある豊かなまちづくりによって地位の活性化や土地利用の推進を図る。 ・新旧市街地間のバランスの取れた質の高いまちづくりによって地域の振興を図る。	まちづくりに対する満足度	単位: %	57.4 H24	79.4 H29
建築件数		単位: 件	16 H24	60 H29	86 H29
町並みや景観に関する満足度		単位: %	55.2 H24	— H29	61.6 H29
		単位:	H	H	H
		単位:	H	H	H



まちの課題の変化

- ・更なる当地区の活性化を図るために商業施設等の企業立地や定住化の促進が必要とされていたが、あみプレミアム・アウトレットや沿道への便利施設(セブンイレブン阿見東インター入口店、カインズ・ロジ茨城営業所、ビッグモーター阿見店、ライトウインズ阿見ほか)を誘致することができた。
- ・一般企業、物流センター等の企業誘致が実現し、さらに大街区の住宅開発と商業施設の一体的な土地活用が決まっており、地区全体の活性化が進んでいる。
- ・近隣公園や住宅地に近接して配置された街区公園の整備も進んでおり、計画的でバランスの取れた公共施設の整備による良好な環境を創出が進んでいる。
- ・急激な都市化によって既存市街地では交通問題などの様々な課題が懸念されていたが、町道0207号線(道路修繕)整備が進み、新・旧市街地間のネットワーク強化により利便性は向上している。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

本事業区域外の行政区[君島][上条]などの市街化調整区域においては、都市計画法34条(開発許可の基準)12号の県条例で定める区域に指定し、住宅が建てられるようにしてまちづくりを進めることとしている。

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他()					

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業		当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
事業	事業箇所名	事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	町道第0207号線(道路修繕)	48.0	道路修繕L=525m	48.0	道路修繕L=525m	なし	—	●	
道路	歩行者専用道路整備	14.3	延長L=250m、幅員4mの道路新設(5箇所)	0.0	—	歩行者専用道路整備については阿見吉原土地区画整理事業区域内での事業となるため事業を削除	指標に影響するが数値は据え置く	—	
公園	吉原近隣公園整備	293.0	多くの地域住民に愛着を持たれる公園の整備 A=24,703㎡	396.4	施設整備計画の変更 A=24,703㎡	交付対象事業の事業費の増加	指標に影響するが数値は据え置く	●	
公園	街区公園整備(5箇所)	343.5	未利用地へ魅力あふれる公園を整備することにより定住人口の増加を図る。A=19,100㎡	343.5	未利用地へ魅力あふれる公園を整備することにより定住人口の増加を図る。A=19,100㎡	なし	—		● 但し、南工区街区公園4はH30年度完成見込み
河川	—								
下水道	—								
駐車場有効利用システム	—								
地域生活基盤施設	緑地整備	11.6	緑地整備A=1,300㎡	11.6	緑地整備A=1,300㎡	なし	—	●	
高質空間形成施設	—								
高次都市施設	—								
既存建造物活用事業	—								
都市再生交通拠点整備事業	—								
土地区画整理事業(都市再生)	—								
住宅市街地総合整備事業	—								

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業	—								
バリアフリー環境整備事業	—								
優良建築物等整備事業	—								
住宅市街地総合整備事業	—								
街なみ環境整備事業	—								
住宅地区改良事業等	—								
都心共同住宅供給事業	—								
公営住宅等整備	—								
都市再生住宅等整備	—								
防災街区整備事業	—								

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	町界町名地番整理	5.0	阿見吉原土地区画 整理事業の東工区 において換地処分に 合わせて新たな町界 を整理し、分かりや すい住所等に表示す る。	5.0	阿見吉原土地区画 整理事業の東工区 において換地処分に 合わせて新たな町界 を整理し、分かりや すい住所等に表示す る。	なし	—	●	
事業活用調査	事後評価支援業務	2.0	今後のまちづくりの 在り方の検討のため、 交付金により効果 などを客観的に検 証し、成否の要因を 分析	2.0	今後のまちづくりの 在り方の検討のため、 交付金により効果 などを客観的に検 証し、成否の要因を 分析	なし	—		●
	地域づくり調査検討業務	3.0	新旧市街地の課題 を整理し、当地区に おける将来の在り方 を検討する。	0.0	—	関連事業の阿見吉原土地区画整理 事業が事業期間中であり、まちづく り方針検討は時期尚早と考えられ るため削除	影響なし	—	
まちづくり 活動推進事業	—								
	—								

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業									
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考	
			当初計画	最終変更 計画	当初計画	最終変更計画			
土地区画整理事業(基盤整備、竜ヶ崎阿見線BP等)		阿見吉原地区	23,389	23,389	H15～H36	H15～H36	事業継続中。大規模宅地に 企業進出があるなど順調に事 業が進展中	事業主体: 茨城県	
福田工業団地線整備		阿見吉原地区	55	55	H23～H25	H23～H25	事業完了。	事業主体: 阿見町	
下水道事業		阿見吉原地区下水道事業	2,867	2,867	H23～H25	H18～H30	供給処理施設等の敷設工事 など事業が継続中。	事業主体: 阿見町	
下水道事業		阿見吉原地区雨水調整池事業	975	975	H20～H30	H20～H30	調整池や関連する事業が継 続中。	事業主体: 阿見町	
下水道事業		阿見吉原地区	2,149	2,149	H20～H30	H20～H30	排水施設工事など事業が継 続中。	事業主体: 阿見町	
首都圏中央連絡自動車道		横浜～木更津					圏央道(茨城県内区間)全線開 通	事業主体: 国土交通省	

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)		目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの有無	
			基準 年度		基準 年度		目標 年度					あり	なし	
指標1	まちづくりに対する満足度	%	アンケート調査によりまちづくりに対する満足度を計測	—	57.4	H24	79.4	H29	モニタリング		モニタリング		●	
									事後評価	確定見込み ●	55.6	事後評価		×
指標2	建築件数	件	阿見吉原土地区画整理事業地内(東工区)における企業や住宅の建築件数を計測	—	16	H24	60	H29	モニタリング		モニタリング			
									事後評価	確定見込み ●	86	事後評価		○
									モニタリング		モニタリング			
									事後評価	確定見込み	事後評価			
									モニタリング		モニタリング			
									事後評価	確定見込み	事後評価			
									モニタリング		モニタリング			
									事後評価	確定見込み	事後評価			

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	近隣公園、緑地、町道整備、加えて大街区等の土地活用も進み市民が快適で安心して暮らせる住環境が整いつつあり満足度の向上を目指したが、3つの街区公園がH29年度中の完成を目指し、1つはH30年度の完成予定と大半が整備中であり、目標値を上回らなかったため目標達成度は×とした。	指標の目標値は総合振興計画における10年後に期待する「施策の重要度」を目標値としており、事後評価年度はその中間の5年後であることから、達成することは困難であった。
指標2	あみプレミアム・アウトレットや幹線道路沿道への利便施設、一般企業、物流センター等の企業誘致が実現するなど地区全体のまちづくりが進んだことにより、計測時[平成29年10月]の新築増加画地件数が目標値を上回ったため○とした。	—

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○:評価値が目標値を上回った場合

△:評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×:評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値(ア)		従前値(イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項(指標計測上の問題点、課題等)	
				基準年度		基準年度						
その他の数値指標1	町並みや景観に関する満足度	%	「住宅・住環境」に関する町民アンケート調査の結果から整備計画区域内の吉原小・君原小校区の回答を抽出し満足度を確認する。満足度の5段階評価段階評価(5、4、3、2、1)を集計し、その満足度割合として平均値を算出し、パーセンテージに換算して計測する。	—	—	55.2	H24	モニタリング		61.6	「景観形成道路の景観形成ガイドライン」を活用した竜ヶ崎阿見線バイパスの一体的な沿道景観形成や環境と地形を活かした近隣公園、街区公園の整備により優れた景観づくりや良好な住環境づくりが進んでいることを説明するため	指標1と2を補完して、優れた景観と高い機能性を有するバランスのとれた良好な住環境と安全で魅力ある豊かなまちづくりが進行していることを説明する
								事後評価	確定			
								モニタリング				
								事後評価	確定			見込み
								モニタリング				
								事後評価	確定			見込み

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

- ・公園緑地里親制度を活用した地域住民団体による環境美化等に関するボランティア活動として、地域住民や近隣民間企業により組織化された定期的な活動(スポーツゴミ拾い:スポGOMI)が実施され、地域のコミュニティ形成に寄与している。
- ・区画整理事業によるあみプレミアム・アウトレットの誘致は、その後の大街区への企業誘致や物流センターなどの立地を実現し、さらなる商業施設整備の土地活用実現が見込まれており、商業施設や企業立地、定住化に寄与していると言える。
- ・町道の(蓋付き排水側溝)整備は、路肩への脱輪の危険がなくなったことなど道路の安全性の向上に寄与している。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
事業の進捗及び効果を確認するため、中間評価(モニタリング)	予定どおり実施した	—	—
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由) ●		
—	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
いぶきの丘阿見東まちづくり推進協議会公園部会において整備内容及び使いやすく町民に親しまれる公園づくりについてワークショップ形式の部会を開催	予定どおり実施した	【実施頻度】計2回 【実施時期】平成29年1月・3月 【実施結果】住宅地に近い街区公園の造り方について、予定地を見てもらった上で、地形的な特徴を活かした比較案をもとに公園に求める機能や具体的な施設など住民の意見を聞いて設計することにより、町民に親しまれる公園づくりについて理解を得られた。	今後も他の街区公園も含め公園利用者である住民や里親制度参加者の意見を聞きながら利用促進を図っていく。
	予定はなかったが実施した ●		
	予定したが実施できなかった (理由)		
—	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
まちづくり推進協議会を設置し、継続的なまちづくりについて交付金事業の整備内容の説明を踏まえた意見交換による検討を実施。	予定どおり実施した	継続的なまちづくりについて、現地視察をもとにした意見交換と計画及び整備内容の検討、推進を行う。	いぶきの丘阿見東まちづくり推進協議会	阿見吉原土地区画整理事業が完了する平成31年度まで継続して実施。
	予定はなかったが実施した ●			
	予定したが実施できなかった (理由)			
—	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
都市再生整備計画(阿見東部地区)事後評価庁内検討会議	道路公園課、総務課、都市計画課	平成29年10月30日	産業建設部都市計画課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類別		指標2	その他の数値指標1				
指標名		建築件数	町並みや景観に関する満足度				
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見		
基幹事業	道路事業 町道第0207号線(道路修繕)	◎	あみプレミアム・アウトレットや幹線道路沿道への便利施設、一般企業、物流センター等の企業誘致が実現するなど地区全体のまちづくりが進んだことにより、建築数が増加した。	◎	「景観形成道路の景観形成ガイドライン」を活用した竜ヶ崎阿見線バイパスの一体的な沿道景観形成や環境と地形を活かした近隣公園、街区公園の整備により町並みや景観に対する満足度が向上した。		
	公園事業 吉原近隣公園整備	◎		◎			
	公園事業 街区公園整備	◎		◎			
	生活基盤整備施設事業 緑地整備	○		◎			
提案事業	地域創造支援事業 町界町名地番整理	○				○	
	事業活用調査 事後評価支援業務	—				—	
関連事業	土地区画整理事業(基盤整備、竜ヶ崎阿見線BP等) 阿見吉原地区	○				○	
	福田工業団地線整備 阿見吉原地区	○				○	
	下水道事業 阿見吉原地区下水道事業	○				○	
	下水道事業 阿見吉原地区雨水調整池事業	○				○	
	下水道事業 阿見吉原地区	○		○			
	首都圏中央連絡自動車道 横浜～木更津	○		○			

※指標改善への貢献度

- ◎ : 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- : 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △ : 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	便利施設のさらなる誘致など良好な住環境づくりを継続的に推進していく。	道路景観ガイドラインの周知など町並みや景観の向上につながる取組みを継続していく。		
-------	------------------------------------	--	--	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1											
指標名		まちづくりに対する満足度											
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	道路事業 町道第0207号線(道路修繕)	△	近隣公園、緑地、町道整備、加えて大街区等の土地活用も進み町民が快適で安心して暮らせる住環境が整いつつあり満足度の向上を目指したが、3つの街区公園がH29年度中の完成を目指し、1つはH30年度の完成予定と大半が整備中であり、まちづくりの満足度に反映されなかった。	Ⅲ									
	公園事業 吉原近隣公園整備	△											
	公園事業 街区公園整備	△											
	生活基盤整備施設事業 緑地整備	-											
提案事業	地域創造支援事業 町界町名地番整理	△											
	事業活用調査 事後評価支援業務	-											
関連事業	土地区画整理事業(基盤整備、竜ヶ崎阿見線BP等) 阿見吉原地区	△											
	福田工業団地線整備 阿見吉原地区	△											
	下水道事業 阿見吉原地区下水道事業	△											
	下水道事業 阿見吉原地区雨水調整池事業	△											
	下水道事業 阿見吉原地区	△											
	首都圏中央連絡自動車道 横浜～木更津	△											

※目標未達成への影響度

- ××: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △: 数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ: 内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ: 外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ: 外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ: 内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	街区公園整備を促進させ、良好な住環境づくりを推進していく。			
------------------	-------------------------------	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
都市再生整備計画(阿見東部地区)事後評価庁内検討会議	道路公園課、総務課、都市計画課	平成29年10月30日	産業建設部都市計画課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
更なる当地区の活性化を図るためには、商業施設等の企業立地や定住化を促進することが必要であるため、計画的でバランスの取れた公共施設の整備による良好な環境作りが望まれる。	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトレットモール、沿道コンビニ誘致、利便施設の誘致が実現 ・大和ハウス工業(株)が大街区に、1/2を商業施設、その他を住宅地にする開発が確定 ・ふれあいの杜公園や街区公園の配置、都市緑地の整備により良好な環境づくりが実現 ・いぶきの丘通りは『景観形成道路の景観形成ガイドライン』による道路景観が形成 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療施設、福祉施設の誘致 ・事業区域周辺とのまちづくり計画の連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政区への未登録を起因とする新旧住民の情報不足(新住民のゴミ収集のルール徹底、防犯灯設置要望への対応)
急激な都市化によって既存市街地では交通問題などの様々な課題が生じていることから、早急な安全性強化などの対策が求められているとともに、将来的な課題についての対策を検討していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・町道0207号線(道路修繕)整備が進み、新・旧市街地間のネットワーク強化により利便性が向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業区域内外を通る公共交通の不足 	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
A欄 効果を持続させるため に行う方策	・一般住宅用地の良好な住環境の維持 ・公園の利便性に資する運営、活動の継続	・良好な住環境づくりを住民参加型で継続的に推進	・里親制度助成(継続、拡大) ・町内企業説明会「地域中小企業・小規模事業者の人材確保支援等事業」
	・道路の修繕、維持管理の継続	・道路の維持管理などを住民参加型で継続的に推進	

	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
B欄 改善策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	・定住化につながる施設誘致の促進 ・周辺地区のまちづくりの推進	・便利施設や就業企業の誘致、継続、推進 ・周辺地区の都計法34条12号「区域指定」によるまちづくりの推進	
	・事業区域内外を通る公共交通の検討、拡充	・事業区域内外を通るあみまるくんルートの早期設定と情報提供	・阿見町デマンドタクシー「あみまるくん」運行事業
	・新住民への情報提供	・行政区への登録促進	

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

本事業区域外の行政区[君島][上条]などの市街化調整区域においては、都市計画法34条(開発許可の基準)12号で定める区域に指定し、住宅が建てられるようにしてまちづくりを進めることとしている。

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
 ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度	確定	見込み			予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	まちづくりに対する満足度	%	57.4	H24	79.4	H29	確定	55.6	×	あり	H35年5月頃	第7次総合計画策定時のアンケート調査実施での評価で確認(第6次策定に係るアンケートの10年後)	
指標2	建築件数	件	16	H24	60	H29	確定	86	○	あり	H30年10月頃	阿見吉原土地区画整理事業工区の新築画地増加件数を確認し、評価基準日[平成30年3月]の建築増加戸数を計測	
				H		H	確定			あり			
				H		H	見込み			なし			
				H		H	確定			あり			
				H		H	見込み			なし			
その他の数値指標1	町並みや景観に関する満足度	%	55.2	H24			確定	61.6			H35年5月頃	第7次総合計画策定時のアンケート調査実施での評価で確認(第6次策定に係るアンケートの10年後)	
				H			見込み						
				H			確定						
				H			見込み						

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	「町並みや景観に関する満足度」については、幹線道路や区画道路の整備が進み東工区に加え南・西工区の大街区にも大型施設や企業が誘致されたほか沿道も含め新築件数が増加し町並みや景観が整ったことで、着実に向上していることが確認できた。	事後評価の実施時期を考慮して目標値を設定する必要がある。
	うまくいかなかった点	今回の事業と直接関係の少ない第6次総合計画策定時の町民アンケートの「今後の施策の重要度(10年後)」を5年後の目標値としたことで目標値が高くなり過ぎた。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		実施する事業の完成時期を見据えた目標、指標を設定することが望ましい。
	うまくいかなかった点	指標1:まちづくりの満足度は、主な事業である街区公園整備の完成数が少なく、目標の事業の指標として直接的な効果を計れなかった。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	里親制度の補助により新しい町で住民や地域企業による活動が実施されている。	行政区への登録の有用性の周知など様々な情報提供手段を活用する必要がある。
	うまくいかなかった点	行政区への未登録を起因とする新住民の情報不足が、ゴミ収集ルール、防犯灯設置要望、コミュニティ形成などに関する新旧住民の交流の阻害要因となっている。	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

添付様式6ー参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

次期計画なし

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	町のホームページに掲載	平成29年11月10日～11月24日	平成29年11月10日～11月24日	担当課で以下の方法で受け付ける。 ・窓口受付、郵便	都市計画課
広報掲載・回覧・個別配布	町の広報に掲載(町ホームページ及び都市計画課の窓口にて閲覧できる旨を掲載)	平成29年11月号	—		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	都市計画課の窓口にて閲覧可能	平成29年11月10日～11月24日	平成29年11月10日～11月24日		

住民の意見	なし				
-------	----	--	--	--	--

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	筑波大学名誉教授 練馬まちづくりセンター所長 小場瀬 令二 NPO法人 つくば建築研究会理事 (株)若柳建築事務所 一級建築士事務所 代表 若柳 綾子	平成29年12月15日	都市計画課	阿見町都市再生整備計画事業評価委員会要綱	従来の組織(事後評価委員会)
その他の委員	阿見町議会議員 紙井 和美 阿見町議会議員 倉持 松雄				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・方法書に従って、事後評価が適正に実施されたことが確認され、妥当である。
	成果の評価	・妥当である。
	実施過程の評価	・「住民参加プロセスの実施状況」「持続的なまちづくり体制の構築」は、適切に行われ妥当である。
	効果発現要因の整理	・主な事業の公園が整備中であり、評価するのは難しいが、事業効果要因の整理は、妥当である。
	事後評価原案の公表の妥当性	・公表の手続きは妥当である。
	その他	・目標数値の設定について、10年後の目標は良いが年数を下げてみても良かったのではないかと。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きは妥当である。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・妥当である。
	フォローアップ	・妥当である。
	その他	・公園の維持管理は住民だけでは難しいので、今後も町の協力が必要である。 ・住民誘致を進めるため新しい街の紹介を道路沿いに告知する工夫をして認知度を上げる必要がある。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくり方策は、妥当である。
その他	・事業地区の進捗状況が誰にも分からないことが多い、事業地区のPRや周知を工夫して欲しい。	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署
—		
—		

有識者の意見	—
--------	---